

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

TEL 03-5357-0303

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	257	△22.5	△4	△128.8	△0	△103.9	△6	△133.4
25年3月期第2四半期	331	△15.8	15	△62.2	18	△47.6	18	△80.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △6百万円 (△133.4%) 25年3月期第2四半期 18百万円 (△77.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△2.30	—
25年3月期第2四半期	6.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	786	350	44.5
25年3月期	817	356	43.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 350百万円 25年3月期 356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	513	△16.9	5	△82.0	5	△86.6	△0	—	△0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	2,661,720 株	25年3月期	2,661,720 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	41,878 株	25年3月期	41,728 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	2,619,915 株	25年3月期2Q	2,620,478 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかに回復しつつあり、今後は、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクも残っております。

当社を取り巻く環境に関しては、モバイルコンテンツの市場構造が変化を続けており、市場規模は拡大しているものの、内訳をみるとソーシャルゲーム市場が大きな部分を占めてきております。携帯電話市場に関しては、平成25年9月末における携帯電話・PHSの契約数は140,193,100件（前年同月比6.3%増 社団法人電気通信事業者協会調べ）であり、携帯契約総数の大幅な拡大が望めない中、スマートフォン端末の普及が急速に進んでおります。その影響で携帯通信事業各社の契約数のシェアにも変化が現れており、また、携帯通信事業各社ごとにスマートフォン上でのコンテンツ提供戦略に違いもあり、コンテンツ市場の構造も変化を強いられています。

このような状況の下、当社グループは、リモートメール事業を中心に、市場構造の変化に対応するための諸施策を実施しつつ、新たなサービスの開発を進めてまいりました。

当社グループの各セグメント別の業績は次のとおりであります。

①リモートメール事業

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。携帯電話からスマートフォンへ切り替えた際にも、違和感を覚えずに継続利用できるよう、スマートフォン向けの最適化、新機能の搭載を進めております。契約数の減少傾向に歯止めをかけるべく、効果的な広告宣伝に努めております。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、引き続き営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでおります。既存顧客からの紹介、新規顧客へのアプローチ方法の強化など販路拡大に努めつつ、各種機能を細かく調整し、よりセキュアに使用したいという顧客ごとの要望に柔軟に対応することで顧客満足度の向上にも努めております。

また、光通信グループの携帯電話販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き売り上げに寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は248百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益は61百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

②その他

その他の売上は、主に携帯電話・スマートフォン向けコンテンツの売上によるものであり、売上高は8百万円（前年同期比66.6%減）、営業損失は12百万円（前年同期営業損失9百万円）となりました。

※前連結会計年度まで「リモートメール事業」、「コンテンツ事業」の2つを報告セグメントとして情報を開示しておりましたが、「コンテンツ事業」の金額的重要性が低下し、全セグメントに占める「リモートメール事業」の割合が高くなった為、当第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の記載を省略しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高257百万円（前年同期比22.5%減）、営業損失4百万円（前年同期営業利益15百万円）、経常損失0百万円（前年同期経常利益18百万円）、四半期純損失6百万円（前年同期四半期純利益18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は786百万円となり、前連結会計年度末に比べ、31百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産における現金及び預金の減少22万円、売掛金の減少10百万円等であります。

負債の部は436百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少しております。主な要因は、未払金の減少16百万円、長期借入金の減少8百万円等であります。

純資産は350百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円の減少となっております。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9百万円(前年同四半期連結累計期間は37百万円の収入)となりました。この主な要因は、減価償却費の計上8百万円、売上債権の減少10百万円、長期未収入金の減少9百万円等の資金増に対し、未払金の減少15百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は22百万円(前年同四半期連結累計期間は13百万円の収入)となりました。この主な要因は、敷金保証金の差入による支出12百万円、有形固定資産の取得による支出5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は9百万円(前年同四半期連結累計期間は13百万円の支出)となりました。この主な要因は、長期借入金の純減額9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月12日の「業績予想の修正および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,841	575,865
売掛金	114,767	104,306
製品	55	40
繰延税金資産	9,475	4,902
短期貸付金	1,680	120
その他	13,119	8,984
貸倒引当金	△1,361	△326
流動資産合計	736,576	693,892
固定資産		
有形固定資産	28,651	27,358
無形固定資産		
ソフトウェア	5,345	6,851
ソフトウェア仮勘定	945	232
無形固定資産合計	6,290	7,083
投資その他の資産		
長期貸付金	650	650
長期未収入金	1,355,015	1,345,235
その他	26,519	42,127
貸倒引当金	△1,335,891	△1,329,746
投資その他の資産合計	46,292	58,265
固定資産合計	81,235	92,707
資産合計	817,811	786,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,025	8,441
短期借入金	219,680	218,528
未払金	39,610	23,286
未払法人税等	4,290	3,772
偶発損失引当金	9,000	9,000
その他	4,972	4,121
流動負債合計	280,579	267,149
固定負債		
長期借入金	164,660	156,402
退職給付引当金	16,252	12,964
固定負債合計	180,912	169,366
負債合計	461,492	436,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,605	2,242,605
資本剰余金	636,561	636,561
利益剰余金	△2,349,564	△2,355,585
自己株式	△173,464	△173,497
株主資本合計	356,137	350,084
新株予約権	182	—
純資産合計	356,319	350,084
負債純資産合計	817,811	786,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	331,957	257,111
売上原価	55,081	50,915
売上総利益	276,875	206,195
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	102,210	66,625
販売促進費	404	0
支払手数料	59,871	45,299
役員報酬	15,121	17,446
給料及び手当	39,711	38,620
地代家賃	5,426	5,314
貸倒引当金繰入額	1,991	449
その他	36,797	36,852
販売費及び一般管理費合計	261,535	210,609
営業利益又は営業損失(△)	15,340	△4,414
営業外収益		
受取利息	1,610	1,445
貸倒引当金戻入額	7,518	6,921
その他	175	1,787
営業外収益合計	9,303	10,153
営業外費用		
支払利息	5,512	5,000
その他	773	1,461
営業外費用合計	6,286	6,462
経常利益又は経常損失(△)	18,357	△722
特別利益		
投資有価証券売却益	738	—
特別利益合計	738	—
特別損失		
固定資産除却損	210	—
特別損失合計	210	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,885	△722
法人税、住民税及び事業税	863	724
法人税等調整額	—	4,573
法人税等合計	863	5,297
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,021	△6,020
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,021	△6,020

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,021	△6,020
四半期包括利益	18,021	△6,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,021	△6,020
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,885	△722
減価償却費	10,288	8,684
のれん償却額	2,215	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,597	△7,179
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,380	△3,288
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,675	—
長期未収入金の増減額(△は増加)	—	9,780
受取利息及び受取配当金	△1,610	△1,445
支払利息	5,512	5,000
投資有価証券売却損益(△は益)	△738	—
固定資産除売却損益(△は益)	210	—
売上債権の増減額(△は増加)	34,325	10,461
たな卸資産の増減額(△は増加)	28	14
前払費用の増減額(△は増加)	3,804	4,887
未払金の増減額(△は減少)	△22,401	△15,232
未払費用の増減額(△は減少)	101	18
未払消費税等の増減額(△は減少)	△231	397
未収入金の増減額(△は増加)	300	△712
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,336	5,415
その他	6,189	△623
小計	45,652	15,456
利息及び配当金の受取額	1,595	1,441
利息の支払額	△5,769	△6,428
法人税等の支払額	△4,444	△1,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,034	9,168
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,224	△5,414
無形固定資産の取得による支出	△1,860	△3,861
投資有価証券の売却による収入	15,560	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△12,000
貸付金の回収による収入	12,080	1,560
定期積金の預入による支出	△3,000	△3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,556	△22,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	—
長期借入れによる収入	—	68,000
長期借入金の返済による支出	△14,880	△77,410
自己株式の取得による支出	△56	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,936	△9,442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,654	△22,990
現金及び現金同等物の期首残高	306,591	429,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	343,246	406,641

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。